**八尾市社会福祉審議会　地域福祉専門分科会の開催経過（令和４年度）**

**１．第１回地域福祉専門分科会**

**（１）会議日時等**

開催日時：令和５年２月１３日（月）１４時から

開催場所：八尾市立青少年センター　３階　集会室

**（２）案件**

第４次八尾市地域福祉計画の推進及び取組み進捗状況

重層的支援体制整備事業実施計画の策定について

**（３）開催結果**

進捗状況（まとめ）【資料1-１】、進捗状況表（一覧表）【資料１-２】、八尾市重層的支援体制整備事業実施計画（案）【資料１-３】を用い説明を行い各委員よりご意見をいただいた。

会長より以下のとおり総括をいただいた。

　〇会長総括

　　地域福祉計画の進捗状況については、重層的支援体制整備事業を踏まえて、課題の把握や次年度に向けての取組みの整理を行うことができている。

分科会の資料についても分かりやすくまとめられており、評価できる。このまま政策を進めていただければよいと思う。

具体的な特記事項は以下の通り。

1. 体系図における取組み内容の件数について、現在、事務事業指標の計上のみとなっている。しかし、八尾市ではその他にも多くの取組みをしているので、実績の集約の仕方を整理し、正しく報告できるようにすること。
2. 小地域ネットワーク活動においては、地域から寄せられる多くの相談について、精査・分析していく必要がある。その上で、見えてきた地域の課題に対応していくとともに、活動内容が評価できるような指標にしていくこと。
3. 市内の社会福祉法人では、社会福祉協議会が調整役となり、社会福祉施設連絡会を通して、高齢、障がい、こども等の分野に横のつながりができて、分野を越えた社会貢献を実践できている。今後、きめ細やかな支援のネットワーク体制を進めるため、さらなる連携強化をすること。
4. それぞれの相談を受ける機関は、相談を断らずしっかりと受け止め、背景となる要因を見極めて支援していくが、一つの分野のみで対応することが難しい事案については、つなげる支援室につなげ、関係機関で共有し力を合わせ対応していく支援体制が求められる。
5. 地域福祉の推進では、新しい取組みだけがすべてではない。既存の様々な取組みを進める中で、福祉の課題に対応した条件を加える等の工夫次第で、重なりあっている困難な事柄を解きほぐす糸口が見つかるチャンスになると思う。
6. 障がいがあることで、不利益を受けないことがあたりまえである社会を作っていく必要がある。
7. 地域福祉を進めていくには、地域の力は大事であり、早い段階で対応していくことが必要。それは行政だけでは無理なので、地域の中でどう対応をしていくか新たなスキームをつくっていく必要がある。
8. 福祉の制度やサービスでは対応できておらず社会的に孤立した人を社会とつなぐために参加支援を行っていくが、その関わり方については、本人の参加意向に沿いながら丁寧に支援していく必要がある。